

令和5年度事務事業評価Aシート

(単位：千円)

1 事業名 小規模事業者経営改善資金融資利子補助				10 事業費の状況							
2 基本政策 4港区からブランド性ある産業・文化を発信する				予算状況の内訳							
3 政策名 (11) 伝統と最先端技術が融合した区内産業を支援する				決算状況							
4 施策名 ②経営基盤強化に向けた総合的な支援				年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率	
5 事業説明文				令和3年度	15,775	0	0	15,775	8,306	52.7%	
区の制度融資を補完する事業として、東京商工会議所と連携し、日本政策金融公庫の融資に係る金利の一部を補助することにより、経営基盤が脆弱な小規模企業の円滑な資金繰りを支援するとともに、資金調達手段の多様化、利便性の向上を図ります。				令和4年度	14,752	0	0	14,752	5,912	40.1%	
				令和5年度	6,364	-	-	-	-	-	
				財源内訳（当初予算）							
6 背景、経緯				年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他		
区の制度融資を補完する事業として、平成24年に東京商工会議所港支部と利子補助事務の取扱いに関する協定を結び、取扱いを開始しました。 令和2年度には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた特別措置としてマル経融資が拡充され、一般のマル経融資とは別枠で区が利子補助を開始しました。				令和3年度	100.0%	15,775	0	0	0		
				令和4年度	100.0%	14,752	0	0	0		
				令和5年度	100.0%	6,364	0	0	0		
				7 事業内容				11 本事業に係る一次評価（所管課の意見、見直しの背景、根拠データ等）			
日本政策金融公庫から融資を受ける小規模事業者経営改善資金融資（通称「マル経融資」）に対し、金利負担が大きな当初3年間、利子の30%を補助します。 また、令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた特別措置として新設された、「新型コロナウイルス対策マル経融資」に対し、当初3年間利子の100%を補助します。				1 廃止 2 適正化 3 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 4 継続							
				8 事業実績・指標				日本政策金融公庫が実施している「新型コロナウイルス対策マル経融資」の取扱いが、今後も引き続き実施されることが見込まれることから、令和6年度も継続といたします。 なお、当該融資制度の取扱いが終了した場合は、区の補助事業も終了する予定です。			
指標1				指標2				12 事務事業評価結果			
交付決定件数（マル経融資）				交付決定件数（別枠マル経融資）				1 廃止 2 適正化 3 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 4 継続			
当初予定 実績 達成率				当初予定 実績 達成率							
令和3年度	250	51	20.4%	令和3年度	40	15	37.5%	日本政策金融公庫が実施している「新型コロナウイルス対策マル経融資」の取扱いが今後も引き続き実施されることが見込まれることから、区の利子補助も継続することが妥当であると判断できるため、「継続」と評価します。			
令和4年度	250	89	35.6%	令和4年度	36	17	47.2%				
令和5年度	70	-	-	令和5年度	35	-	-				
9 個別計画・関連する法令等											
第4次港区産業振興プラン											

令和5年度事務事業評価Aシート

(単位：千円)

1 事業名				区内共通商品券発行支援				10 事業費の状況																																													
2 基本政策				4 港区からブランド性ある産業・文化を発信する				予算状況の内訳					決算状況																																								
3 政策名				(12) 港区の特性を生かした個性ある商業集積の形成を支援する				年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率																																							
4 施策名				①魅力ある商店街の支援				令和3年度	347,345	0	437,763	785,108	523,818	66.7%																																							
5 事業説明文				区内消費需要の創出と商店街活性化を図るため、港区商店街振興組合連合会が自主発行する区内共通商品券の発行に要する経費の一部を負担します。				令和4年度	382,001	0	313,705	695,706	427,249	61.4%																																							
6 背景、経緯								港区商店街振興組合連合会が発行する区内共通商品券（一般券）の発行支援を平成8年度から、プレミアム付き区内共通商品券の発行支援を平成10年度から実施しています。プレミアム付き区内共通商品券では、令和3年度には一部を電子化、令和4年度には、従来の先着や抽選販売ではなく、申込者全員が購入できるようにするなど、港区商店街振興組合連合会と共に中小店舗や消費者目線での改善に取り組んでいます。				令和5年度	321,830	-	-	-	-	-																																			
7 事業内容												港区商店街振興組合連合会が発行するプレミアム付き区内共通商品券に係る事務経費・プレミアム費を補助します。また、区内共通商品券（プレミアム分無し）の発行に係る事務経費を補助するとともに供託金の一部を貸し付けます。				財源内訳（当初予算）																																					
8 事業実績・指標				<table border="1"> <tr> <td>指標1</td> <td colspan="3">電子商品券取扱店舗数</td> <td>指標2</td> <td colspan="3">プレミアム付き区内共通商品券発行額</td> </tr> <tr> <td></td> <td>当初予定</td> <td>実績</td> <td>達成率</td> <td></td> <td>当初予定</td> <td>実績</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>1,000</td> <td>829</td> <td>82.9%</td> <td>令和3年度</td> <td>1,000,000</td> <td>2,226,687</td> <td>223%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1,000</td> <td>1,008</td> <td>100.8%</td> <td>令和4年度</td> <td>1,000,000</td> <td>1,731,863</td> <td>173%</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>1,200</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>令和5年度</td> <td>1,000,000</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>				指標1	電子商品券取扱店舗数							指標2	プレミアム付き区内共通商品券発行額				当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率	令和3年度	1,000	829	82.9%	令和3年度	1,000,000	2,226,687	223%	令和4年度	1,000	1,008	100.8%	令和4年度	1,000,000	1,731,863	173%	令和5年度	1,200	-	-	令和5年度	1,000,000	-	-	年度	一般財源割合
指標1	電子商品券取扱店舗数							指標2	プレミアム付き区内共通商品券発行額																																												
	当初予定	実績	達成率						当初予定	実績	達成率																																										
令和3年度	1,000	829	82.9%					令和3年度	1,000,000	2,226,687	223%																																										
令和4年度	1,000	1,008	100.8%	令和4年度	1,000,000	1,731,863	173%																																														
令和5年度	1,200	-	-	令和5年度	1,000,000	-	-																																														
9 個別計画・関連する法令等				第4次港区産業振興プラン				令和3年度	39.5%	137,345	0	0	210,000																																								
11 本事業に係る一次評価（所管課の意見、見直しの背景、根拠データ等）								新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、商店街によっては徐々に来街者が戻り始めていますが、物価高騰等に起因して、消費マインドの低下が懸念されるため、引き続き区内共通商品券の発行を支援し、区内商店街店舗での消費喚起や地域のにぎわい創出に取り組めます。				令和4年度	85.6%	327,001	0	0	55,000																																				
12 事務事業評価結果				物価高騰等に起因した消費マインドの低下が懸念されており、区内商店街店舗での消費喚起や地域のにぎわい創出のため、引き続き区内共通商品券の発行を支援していく必要があることから、「継続」と評価します。								令和5年度	90.7%	291,830	0	0	30,000																																				
												1 廃止 2 適正化 3 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 4 継続																																									

令和5年度事務事業評価Aシート

(単位：千円)

1 事業名 チャレンジ商店街店舗応援事業				10 事業費の状況							
2 基本政策 4港区からブランド性ある産業・文化を発信する				予算状況の内訳							
3 政策名 (12) 港区の特性を生かした個性ある商業集積の形成を支援する				決算状況							
4 施策名 ③将来にわたり持続可能な店舗づくり				年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率	
5 事業説明文				令和3年度	40,850	14,260	32,000	87,110	79,458	91.2%	
区内の商店街において小売業等を営む店舗が、新たな顧客を獲得する事業を実施する際に要する経費の一部を補助し、当該店舗の更なる活性化を促進し、商店街及び中小企業の振興を図ることを目的としています。				令和4年度	17,505	-533	0	16,972	13,745	81.0%	
6 背景、経緯				令和5年度	8,063	-	-	-	-	-	
コロナ禍で爆発的に普及したネット販売との競合、物価や人件費の高騰など商店街を取り巻く状況が厳しくなっている中、区民生活と地域のにぎわい創出に不可欠な商店街を支える各店舗の継続的な商業活動を支援するため、令和2年度より新たな顧客を獲得する事業を実施する際に要する経費への補助事業を開始しました。 また、令和3年10月には、ウィズ・コロナ時代を生き抜くために、換気など感染症対策に要する経費を補助対象に追加しました。(令和4年度末をもって、感染症対策経費の補助は終了)				財源内訳(当初予算)							
7 事業内容				年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他		
【新たな取り組み支援】 区内で引き続き5年以上営業している区内商店会加盟店舗が新たに取組む、新規顧客獲得事業、多言語対応事業、効率化・省人化事業に係る経費について、50万円を限度に補助対象経費の1/2を補助します。 【アドバイザー派遣】 新規顧客獲得のための設備導入などに際し、専門コンサルタントをアドバイザーとして派遣します。なお、相談経費は区が負担します。				令和3年度	16.8%	6,850	0	0	34,000		
8 事業実績・指標				令和4年度	94.3%	16,505	0	0	1,000		
指標1				令和5年度	100.0%	8,063	0	0	0		
新たな取り組み支援申請件数				11 本事業に係る一次評価(所管課の意見、見直しの背景、根拠データ等)							
当初予定				1 廃止 2 適正化 3 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 4 継続							
実績				コロナ禍において、補助率や補助上限額の高い補助制度を緊急的・臨時的に設けたため、新たな取組支援の利用件数は減少しましたが、令和4年度末をもって緊急的・臨時的な補助制度を廃止したことや、インターネット販売の普及、人手不足をはじめとした社会情勢の変化等を踏まえ、区内商店会加入店舗の事業継続のための新たな顧客獲得、省人化、効率化などの取組を支援する必要があるため、令和6年度も継続とします。							
達成率				12 事務事業評価結果							
令和3年度				1 廃止 2 適正化 3 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 4 継続							
令和4年度				物価高騰のほか、インターネット販売の普及、人手不足などの社会情勢の変化等を踏まえ、区内商店会加入店舗の事業継続のための新たな顧客獲得、省人化、効率化などの取組を支援する必要があることから、「継続」と評価します。 なお、メニューごとの申請数などを分析し補助メニューの変更を検討するなど、より多くの方が申請できる補助事業となるような見直しが求められます。							
令和5年度				指標2							
当初予定				当初予定							
実績				実績							
達成率				達成率							
令和3年度				令和3年度	1	0	0.0%				
令和4年度				令和4年度	1	1	100.0%				
令和5年度				令和5年度	1	-	-				
9 個別計画・関連する法令等											
第4次港区産業振興プラン											

令和5年度事務事業評価Aシート

(単位：千円)

1 事業名				観光情報発信事業				10 事業費の状況																																									
2 基本政策				4 港区からブランド性ある産業・文化を発信する				<table border="1"> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">予算状況の内訳</th> <th colspan="2">決算状況</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>当初予算額</th> <th>流用</th> <th>補正予算</th> <th>予算現額</th> <th>決算額</th> <th>執行率</th> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>4,877</td> <td>-539</td> <td>0</td> <td>4,338</td> <td>4,336</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>4,425</td> <td>968</td> <td>0</td> <td>5,393</td> <td>3,555</td> <td>65.9%</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>6,734</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>						予算状況の内訳			決算状況		年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率	令和3年度	4,877	-539	0	4,338	4,336	100.0%	令和4年度	4,425	968	0	5,393	3,555	65.9%	令和5年度	6,734	-	-	-	-	-			
		予算状況の内訳			決算状況																																												
年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率																																											
令和3年度	4,877	-539	0	4,338	4,336	100.0%																																											
令和4年度	4,425	968	0	5,393	3,555	65.9%																																											
令和5年度	6,734	-	-	-	-	-																																											
3 政策名				(13) 港区ならではの魅力を生かした都市観光を展開する																																													
4 施策名				②観光客の視点に立った効果的な情報発信																																													
5 事業説明文				<p>港区に関する観光情報誌等の発行など、国内外に向けた観光情報を発信します。多くの方に港区を訪れていただくため、広く区の魅力を発信するとともに、国内外から訪れた旅行者が、区内で充実した時間を過ごせるよう観光情報を提供し、旅行者の周遊性・回遊性を高めます。</p>																																													
6 背景、経緯				<p>本事業は、多くの方に港区を訪れていただくため、広く区の魅力を発信するとともに、国内外から訪れた旅行者が、区内で充実した時間を過ごせるよう観光情報を提供し、旅行者の周遊性・回遊性を高めるため開始した事業です。</p> <p>令和3年度にはコロナ禍の影響を踏まえ、これまで制作していた観光マップをデジタル化し情報発信しました。現在は外国人旅行者数の回復に伴い、紙媒体の需要が高まっています。</p> <p>※ 日本（港区）のマナー、風習、文化等紹介ガイドブックは、令和5年度にシティプロモーション推進事業から本事業へ移管しました。</p>				<table border="1"> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">財源内訳（当初予算）</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>一般財源割合</th> <th>一般財源</th> <th>国庫支出金</th> <th>都支出金</th> <th>その他</th> <th></th> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>59.2%</td> <td>2,886</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,991</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>54.6%</td> <td>2,414</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2,011</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>54.6%</td> <td>3,675</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3,059</td> </tr> </table>						財源内訳（当初予算）					年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他		令和3年度	59.2%	2,886	0	0	1,991		令和4年度	54.6%	2,414	0	0	2,011	令和5年度	54.6%	3,675	0	0	3,059					
		財源内訳（当初予算）																																															
年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他																																												
令和3年度	59.2%	2,886	0	0	1,991																																												
令和4年度	54.6%	2,414	0	0	2,011																																												
令和5年度	54.6%	3,675	0	0	3,059																																												
7 事業内容				<p>(1) 観光マップ（日・英・中・ハングル） 令和3年度：日本語版及び英語版のWeb版観光マップを作成し、港区ホームページで公開。 令和4年度：（日）8,000部、（英）1,500部 令和5年度：（日）5,000部、（英）4,600部、（中）1,000部、（ハ）1,000部（予定）</p> <p>(2) 歴史観光ガイドブック（日・英） 令和3年度：（日）6,000部、（英）1,500部 / 令和4年度：（日）7,000部、（英）1,500部 令和5年度：（日）7,000部、（英）1,500部（予定）</p> <p>(3) 日本（港区）のマナー、風習、文化等紹介ガイドブック（日・英・中・ハングル） 令和3年度：発行なし（コロナ理由） / 令和4年度：2,500部 / 令和5年度：5,000部（予定）</p>				<p>11 本事業に係る一次評価（所管課の意見、見直しの背景、根拠データ等）</p> <p>1 廃止 2 適正化 3 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 4 継続</p> <p>昨年度実施した観光動態基礎調査の結果により、外国人観光客受入時の懸念事項として「言葉の問題」と「マナーの問題」についての改善が必要です。特に「日本（港区）のマナー、風習、文化等紹介ガイドブック（以下「マナーブック」といいます。）」は、東京都が作成している日本の習慣・マナーの紹介ガイドブックには掲載されていない、外国人観光客が港区内を観光する際に必要な知識やマナー情報を掲載しているため、外国人観光客にとって効果が高いものであると言えます。さらに、東京都のマナーブックは今後増刷・改定の予定がなく、コロナ禍の感染予防対策が掲載されており、現在の社会状況と異なる記載が多いため、こうした状況を鑑みても、マナーブックの代用品にはなりません。</p> <p>また、宿泊者に向け、区の魅力を効果的にプロモーションするための「とっておきの港区」とも発行する目的やターゲット、内容のコンセプトが異なるため統合することはできません。今後増加が予想される外国人観光客へのオーバーツーリズム対策としても区が発行する唯一の冊子となるため、作成を継続し、民設の観光インフォメーションセンターや外国人観光客が多く訪れる施設（東京タワーなど）で配布するほか、Web上に公開するデータヘルリンクする二次元コードを観光・街区案内板（区内216基）や外国人が多く訪れる地域の店舗などに配布する卓上ポップなどに掲載し、広く周知する取組を検討してまいります。</p>																																									
8 事業実績・指標				<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">指標1</th> <th colspan="3">観光マップ発行部数</th> <th rowspan="2">指標2</th> <th colspan="3">歴史観光ガイドブック発行部数</th> </tr> <tr> <th>当初予定</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> <th>当初予定</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>令和3年度</td> <td>12,500</td> <td>7,500</td> <td>60.0%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>9,500</td> <td>9,500</td> <td>100.0%</td> <td>令和4年度</td> <td>12,500</td> <td>8,500</td> <td>68.0%</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>11,600</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>令和5年度</td> <td>8,500</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>				指標1	観光マップ発行部数			指標2	歴史観光ガイドブック発行部数			当初予定	実績	達成率	当初予定	実績	達成率	令和3年度	-	-	-	令和3年度	12,500	7,500	60.0%	令和4年度	9,500	9,500	100.0%	令和4年度	12,500	8,500	68.0%	令和5年度	11,600	-	-	令和5年度	8,500	-	-	<p>12 事務事業評価結果</p> <p>1 廃止 2 適正化 3 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 4 継続</p> <p>「日本(港区)のマナー、風習、文化等紹介ガイドブック」は、日本のマナーや文化等の情報を区の観光情報とリンクさせながら丁寧に説明しており、今後さらに増加が予想される外国人観光客の区内周遊の促進やマナー啓発に必要なコンテンツであることから、「継続」と評価します。</p> <p>なお、国や都などで作成している同類の冊子や区の他の観光情報冊子の内容、外国人観光客の動向を注視するなどして、必要に応じて内容や配布場所の見直し、冊子の統合・廃止を検討してください。</p>			
指標1	観光マップ発行部数			指標2	歴史観光ガイドブック発行部数																																												
	当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率																																										
令和3年度	-	-	-	令和3年度	12,500	7,500	60.0%																																										
令和4年度	9,500	9,500	100.0%	令和4年度	12,500	8,500	68.0%																																										
令和5年度	11,600	-	-	令和5年度	8,500	-	-																																										
9 個別計画・関連する法令等				港区観光振興ビジョン、港区国際化推進プラン																																													

令和5年度事務事業評価Aシート

(単位：千円)

1 事業名				キャッシュレス決済の推進				10 事業費の状況						
2 基本政策				実現をめざして				予算状況の内訳						
3 政策名				(24) 先端技術により利便性の高い区民生活を実現する				決算状況						
4 施策名				①いつでもどこでも行政サービスを受取できる環境の実現				年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
5 事業説明文				区の手続におけるキャッシュレス化を推進し、支払における利便性を向上するため、区有施設や窓口マルチ対応型端末やキャッシュレス決済機能付き券売機などを配備し、区の窓口等におけるキャッシュレス化を進めています。				令和3年度	4,619	0	0	4,619	2,256	48.8%
								令和4年度	27,735	-33	0	27,702	3,182	11.5%
								令和5年度	71,257	-	-	-	-	-
6 背景、経緯				区は、区民の利便性向上や現金の受渡しによる新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から区有施設等のキャッシュレス化を推進するため、令和2年12月から各総合支所区民課窓口においてキャッシュレス決済を開始しました。				財源内訳（当初予算）						
								年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他	
								令和3年度	100.0%	4,619	0	0	0	
								令和4年度	100.0%	27,735	0	0	0	
								令和5年度	100.0%	71,257	0	0	0	
7 事業内容				<ul style="list-style-type: none"> ・利用対象者：区手続を利用する方 ・事務手続の方法：備品の購入や委託契約により実施 				11 本事業に係る一次評価（所管課の意見、見直しの背景、根拠データ等）						
								1 廃止 2 適正化 3 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 4 継続						
8 事業実績・指標								12 事務事業評価結果						
指標1	年度ごとのマルチ端末導入数			指標2	年度ごとのキャッシュレス機能付き券売機導入数			1 廃止 2 適正化 3 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 4 継続						
	当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率							
令和3年度	14	5	35.7%	令和3年度	-	-	-	コロナ禍を経て、リモートワーク等の新たな行動様式や人々の行動変容が社会に浸透する中、行政手続のオンライン化、キャッシュレス化の必要性は更に高まっており、デジタル改革担当と連携し、オンライン申請時の電子決済を推進するとともに、各施設・窓口所管との調整を進め、来年度以降の設備の維持管理や安定的な運用を確保し、区民の利便性向上に取り組む必要があることから、「継続」と評価します。						
令和4年度	7	3	42.9%	令和4年度	12	2	16.7%							
令和5年度	7	-	-	令和5年度	24	-	-							
9 個別計画・関連する法令等														
港区情報化推進計画														